

# テラヘルツ光サンプリング解析システムに 高周波数分解能オプション登場!!

Beyond5G/ADAS向け  
周波数特性評価ソリューション

伝達特性  
複素誘電率  
測定

## 次世代通信材料

電波吸収体、基板材料、ポリマー材料などの

## 周波数特性評価に!



### ミリ波～テラヘルツ波の測定をコンパクトに実現

- 高周波数分解能380MHzを実現
- バンド切り替え無しに、広帯域(30GHz～2THz)を一括測定
- 広帯域をスキャンスピード40msの高速掃引
- 透過／反射測定系の配置、キャリブレーションが容易
- リモートプログラミング機能による2Dマッピング測定が可能

TAS7400TS基本構成



発生モジュール TAS1120 検出モジュール TAS1220

NEW



高周波数分解能オプション PYSI74-10MNIS

NEW

タイムドメイン測定



SHT-210067 (透過モジュール) + SHT-710068 (分光測定ベース)

透過測定



SHT-210068 (反射モジュール) + SHT-710068 (分光測定ベース)

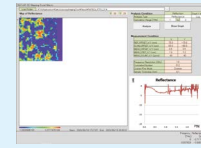
反射測定

フーリエ変換測定



SHT-710122X04 (分光イメージング光学セット) PYSI74-08MNIS (Automatic Control Measuring Option)

Automatic Control Measuring Option



測定性能

TAS7400TS + 高周波数分解能オプション

NEW

周波数分解能	380MHz <sup>*1</sup> 、1.9GHz、7.6GHz
スループット	40ms/scan <sup>*1</sup> 、200ms/scan
周波数確度	±10GHz (周波数: 1.41THz)
測定項目	透過率、反射率、位相、複素誘電率、誘電正接 (tanδ) <sup>*1</sup>

※1 高周波数分解能オプション搭載時

テラヘルツ発生モジュール TAS1120 (低域仕様)

方式	光伝導アンテナ
SNR=1領域 <sup>*2</sup>	0.03 to 2THz
入力光ファイバ・コネクタ	φ3mm 1550nm 偏波保持型光ファイバ (長さ: 1.5m)
寸法 (ファイバピグテールを除く)	55mm × 20mm × 20mm 以下

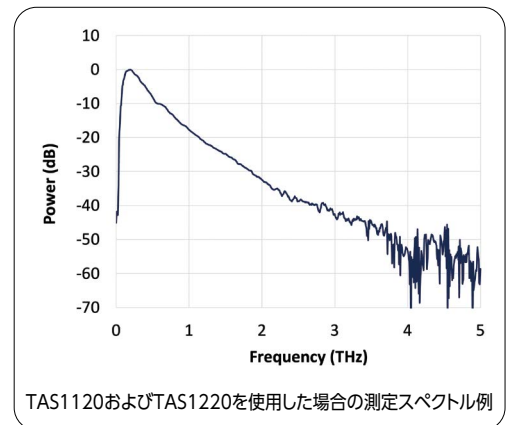
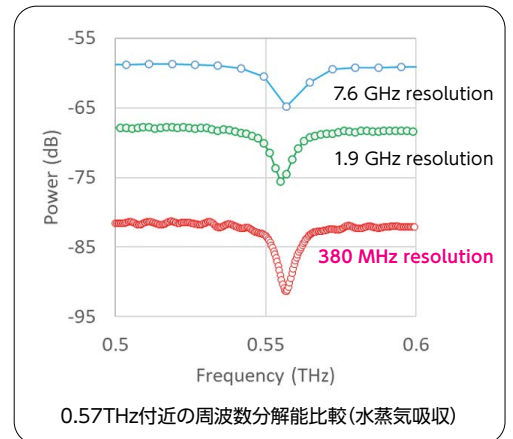
※2 検出器 TAS1220 にて、周波数分解能7.6GHzで測定の場合

テラヘルツ検出モジュール TAS1220

NEW

方式	光伝導アンテナ
ダイナミックレンジ (ピークレベル)	≥50dB (発生器: TAS1120) (分解能7.6GHz)
TIA感度	9.7 × 10 <sup>6</sup> V/A
TIA周波数帯域 (-3dB帯域)	500kHz
入力光ファイバ・コネクタ	φ3mm 1550nm 偏波保持型光ファイバ (長さ: 1.5m)
寸法 (ファイバピグテールを除く)	55mm × 20mm × 20mm 以下

●製品仕様および外観等は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



**ADVANTEST**

<https://www.advantest.com/>

株式会社アドバンテスト

本社事務所  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング  
TEL: 03-3214-7500(代)

●お問い合わせ：新企画商品開発室

E-mail: [info\\_t@advantest.com](mailto:info_t@advantest.com)



詳しくはWebへ